MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 94（年４回発行）

■発行日　令和２年１月１日
■発　行　三春まちづくり協会
■編　集　三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100－１（旧若駒寮）
TEL／FAX（62）3988

## 三春町に明るく楽しい公園を作ろう！

### 三春花の丘公園開設実行委員会

**・どこに作るの？**

旧三春中学校の向かい側の山を中心に考えています。すでに一部で立木伐採のための道路づくりが始まっていますが対象となる土地の地権者には、多くの賛同をいただき、無償でお借りでき、また町の土地も対象となることから、町からも快く了解をいただいております。アクセスは、旧三春中学校前、田村高校入り口前、王子神社、北野神社、紫雲寺などから考えております。

**・どんな公園を作るの？**

今、あるスギなどの用木を伐採し、現在の散策路を生かしながら、急傾斜地を除き、車いすでも歩ける遠路を作りたいと考えています。

樹木を伐採した後には、桜などの花木や四季を通じて楽しめる草花を植えます。また大木を何ヶ所かに残し、日陰を作り、ベンチを置き、団らんができる場所を作りたいと考えています。小さなお子さんがお母さんたちと遊べる空間、ウオーキングの途中の休み場にもなればと考えております。なるべく地域の皆さんと話し合いながら、明るく楽しい公園にしたいと考えております。

**・費用はどうするの？**

福島県県中地方振興局に申請をし、サポート事業に認定され、再来年までの三年間助成金が出る予定で、今年はこの助成金は決まっております。また町からも助成金は頂けることも決まっていますが、更なる増額も希望しています。

**・どのように運営していくの？**

現在検討中ですが、草刈りや園路の清掃は、できるだけ町民の方と町とが一体となって、維持管理ができるように検討を重ねております。

**・どうしてこんな構想が生まれたの？**

小さいお子さんを連れたお母さんが言っていました。三春には子供を連れて遊びに行ける明るい公園がない。だから本宮の水色公園へ行くの！また白沢に、郡山に行くというお母さんさんもいました。確かに三春町には、神社やお寺の庭に遊びに行く以外、自然を楽しみながら子供たちと遊ぶところが少ないです。

私たちは、三春に賑わいを呼びたく、そのシンボルとして、お城山にお城を作るのはどうかと築城委員会を開き話し合ってきました。そんな会議の折、ふとお城山から街中を見下ろす機会があり、街の真ん中に大きな森があることに、改めて気づかされました。

あの一帯の樹木を切り、新しく桜などの花木や花々を植えて公園にしてはとの考えが浮かんできました。構想は荒町、大町、北町、北向町で囲まれた一帯の公園化です。早速地権者の方々に話をしたところほぼ全員から、うちの木は いらない、公園化は賛成と話はとんとん拍子に進んでいきました。各区長さんにも意見を聞きましたが、やはり同じ方向でした。

早速発起人の私たちと町長をはじめとする役場幹部の方々との意見交換をするの機会を作っていただきました。その結果当初民間主体で組織を立ち上げ、基礎作りをしたのち、町と一体になり管理運営をしていきたいとの考えに至りました。

その団体名は「三春花の丘」公園開設実行委員会。

また土地をお貸しいただける方との貸借契約を結ぶために「特定非営利活動法人三春楽しい地域づくりの会」（ＮＰＯ法人）を立ちげ、現在に至っております。

ここまでお読みいただきありがとうございました。是非ともご賛同をいただき、一緒に明るく楽しい公園づくりにご協力いただければ幸いです。

お待ちいたしております。

## 新年のご挨拶

三春まちづくり協会長　相川義則

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より三春まちづくり協会に温かいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は台風一九号など自然災害が数多く発生し全国的に被害が発生いたしました。改めて被害に遭われた皆様へお見舞い申し上げます。

本年は災害のない一年であることを願うと共に安全安心を最優先の町づくりとして、明るい話題が豊富にありますことを願っております。

新年早々夢ある明るい話題が紙面で紹介されました。紫雲寺散策路を再整備し、三春花の丘公園にすることが発足しました。中心市街地の山を四季折々の花で彩り町民の皆様の憩いの場所と観光名所にする計画です。街に賑わいが戻る。花の元談笑している姿。想像するだけで楽しくなります。皆様一緒に参加しましょう。今後とも、町民の皆様が「三春町に住んでよかった」「この街が故郷でよかった」の町づくりを進めて参りたいと思います。結びに、新年が皆様にとりまして希望に満ちた幸多い年であります ようにご祈念申し上げ新年のあいさつといたします。

## 協会活動だより

### 令和元年度三春まちづくり協会研修旅行

大内　長久

紅葉には少し早いが、秋晴の好天に恵まれた十一月五日朝八時、中町駐車場から町バスに二十五名が乗って、令和元年度三春まちづくり協会研修旅行の目的地栃木県方面に出発。バスに乗るのが早いか、後部座席では早くも宴会が始まり、これも研修か、と納得してバスに揺られること二時間ほどで、最初の研修場所「史跡足利学校」に到着。足利学校は奈良時代に創建された日本最古の学校で、土塁と掘割に囲まれた豪族屋敷を彷彿させる趣を残している。建物は平成二年に再建されたものだが、重厚な作りで当時の面影を醸し出しており、また史跡周辺は石畳の道路が整備され、道路沿いには歴史を感じさせる建物が残り、史跡を回る観光地として風情が楽しめた。

足利学校敷庭園では和服で着飾った若い女性の一団（数十名）を遠望出来た。近づくと彼女らは全員外国人で、抜群のプロポーションで見たことのない美人揃い。全員自分の国名を書いたタスキを掛けており、何者か？と聞いたところ「ミスインターナショナル日本大会」に出場する各国代表とのこと。掛け値なしの美女軍団だった。それぞれとびっきりの美女揃いだが、震い付きたいような色気は全く感じられなかったのは、年のせいだけではなく、非の打ちどころのない芸術品として眺められたためだろうと一人納得。美女軍団と別れて次に向かったのは「あしかがフラワーパーク」。巨大な藤棚や四季折々の花々が咲き競い、夜はイルミネーションに彩られることで名高い施設だが、季節外れで特に目を引く花や花木はなかった。しかし車いすを押しながらでもユックリ散策できる、優しくレイアウトされた散策路が縦横に走っている様子を見て、紫雲山を中心に計画されている「三春版花見山」達成の参考になるのではとの思いも浮かんだ。昼食は「フラワーパーク」レストランですき焼き定食を楽しんだあと「佐野厄除け大師」に参拝して帰路に就いた。

事務局の配慮で楽しい研修ができたことに改めて謝意を表します。

# 部会だより

## 「どこでも健康教室・頻尿や尿漏れについてのお話」

福祉部会　小池　清美

保健センターにおいて、星総合病院の永崎真利子看護師長から、高齢者の身近な問題となっている頻尿や尿漏れについて、講演をいただきました。

主な頻尿や尿漏れの原因としては、男性の場合は前立腺肥大症や過活動膀胱によって、排尿トラブルを発症するようになるとのことでした。

女性の場合は、加齢や出産、肥満、便秘等によって骨盤底筋群の脆弱化を招き、腹圧性尿失禁を発症するようになるとのことでした。前立腺肥大症を悪化させない日常生活の注意点は、

・適度な運動
・過剰な水分を控える
・尿を我慢しない
・アルコール飲みすぎ注意
・夜間のコーヒーを控える
・刺激の強い食物は避ける
・便秘に注意する

等だそうです。

骨盤底筋群の脆弱化を防ぐ日常生活の注意点は、

・骨盤底筋体操の励行
・肥満、便秘に注意する

等だそうです。

この他にも、失禁のタイプによって機能性失禁や流動性失禁等があるそうです。

最後に、排泄問題の現状やその取り巻く環境について、お話を頂き講演は終了しました。

頻尿や尿漏れは、自覚症状を感じやすく、だれでも多少心当たりがあるのではないでしょうか。受講者からも、講演後に多くの質問が出されていました。

症状を悪化させない日常生活の注意点を学んだので、今後の生活に生かしていたいと思います。

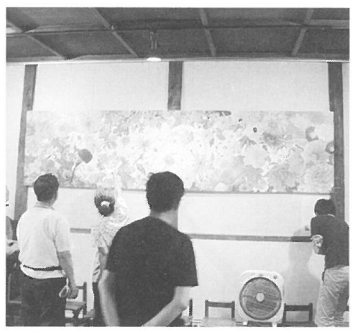
## 街並部会
## 令和元年度研修旅行

佐久間保一

街並部会本年度の研修旅行は会員六名が参加し七月二十七～二十八日に行いました。

全国的に人口減少による空き家が問題になっているので、西会津町の空き家対策の実例と当部会が継続テーマとしている蔵造り生かしたまちづくりの先進地喜多方市を訪れました。

初日西会津町へ行きました。道の駅西会津で地元観光案内ボランティアの方と待ち合わせをしました。なんと案内者は街並み部会員の大学時代の同級生というハプニングがありましたはじめにまちづくりの拠点の「ふるさと自慢館」を案内され西会津町の歴史と現況の説明を受けました。空き家対策というよりは町興しに重きを置いた内容でした。空き家対策としては空き店舗の利活用と空き家利用時の補助金の説明と定住促進の現状の説明がありました。その後鳥追観音如法寺へ移動し拝観と昼食を取りました。



午後は旧新郷中学校の木造校舎を利用した西会津国際芸術村を見学しました。三春町も桜中学校を美術館として利用していますが、学校を用途変更して利活用するのは建築基準法と消防法の適用が難しく、まして当新郷中学校は木造校舎なので苦労のほどがうかがえました。内容は若い芸術家に制作の場と展示場を提供するという施設でした。二十八日は喜多方市に移動し、市内小田付地区の伝統的建築物郡保存地区の蔵を生かした街並みづくりを見学し次に既存建物の文化財指定まではいかないがその地方独特の伝統的建築物をまちづくりに生かす、先進的な喜多方市歴史的建築物保存活用に関する条例の適用状況を見学しました。

最後は磐梯町の慧日寺の復元された「薬師如来坐像」を拝観し帰途につきました。今回の研修旅行はどこも現在進行形で、わが三春町の状況も踏まえて今後も参考にしていきたいと感じました。

## 生涯学習部
## 服部　昇

九月五日、三春町真照寺歴史、概況などの講演を受けました。

同寺は真言宗智山派、秋田公代々御祈願所であり、鎌倉時代の寛喜三年（一二三一）醍醐山三宝院十七世意教上人の開山と伝えられております。

三春町重要文化財に指定されている「古四王堂」の再建や秘伝帝釈天、そして四天王等七ツの宝仏像を参拝し、それぞれの時代を回想するひとときでした。

とくに強く印象深かったのは、座禅を体験し「清浄体操」の仕方をひも解いていただき、無言空想のひとときで、我人生を振り返ることが出来ました。

寺院の一角を担う水芭蕉の素晴らしい群生地。秋の紅葉ライトアップ時には、カメラ持参で、水面に浮かぶ絶景なるたたずまいを拝見したく楽しみです。

## 「散策路ウオーク」に参加して

地域部会　鈴木　金一

十月二十九日、十六名の参加の下、お城山散策ウオークが、開催されました。

当日は、朝から曇りがちで、今にも泣きだしそうな空のもとでの開催となりました。

ウオークは、当初の計画とは異なり、一〇〇名城に仲間入りした「三春城」にするということでした。

これは平成二十九年四月に公益財団法人の認可で一〇〇名城に指定されていた訳ですが、三春在中なのにあまりにも三春のことを知らないでもう居られないのでは、ということもあっての散策となりました。

ガイドの渡辺さんの説明を聞きながらお城坂から登り大手門跡地から頂上、裏門まで事細かに説明を受け、最後は由緒ある田村大元神社へ下り、同神社の説明を聞き解散となりました。

参加した皆さんの気持ちを察してか、雨は神社へ降りてきてから降りだし、天も味方になってくれました。心を一つにした散策に感謝。

## 「視察研修・通学路放射線量の測定を実施」

環境部会　菅井　純一

本年度の視察研修は、三春米全袋検査所（ＪＡ御木沢農業資材センター）に行きました。

平成二十四年～三十年まで約四十二万袋（三十kg）の検査を行い、三年間は放射線量の高い米もありましたが、基準値を超える米はありませんでした。

平成二十七年以降は測定下限値未満で安心、安全な米です。全袋検査は今年度で終了だそうです。

また今年度も前年度に引き続き東京電力福島第一原子力発電所の事故による町内通学路の放射線量測定を計画いたしました。測定地点（七十ヵ所）の数値の発表を行うことを決めて各地区の部会員が実施いたしました。放射線量測定結果を見ますと測定場所の最高値〇・一七（城山公園）最低値〇・〇六（化粧坂バス停・四軒丁入口）マイクロシーベルトでした。

前年度と同じか下がっている地点が多いなか、上昇した地点も見られましたが、〇・一〇マイクロシーベルト未満のところも多くなっていました。尚、通学路放射線量の測定結果のついては、「一覧表」と「グラフ」で表し、回覧によりお知らせ致します。

## 編集後記

令和最初の年越しを迎えようとしている。師走特有のせわしなさの中、年越しの準備と併せ毎年欠かせないのが年賀状の準備だ。私が子供の頃はイラストやスタンプで新年のメッセージを作り、宛名は手書きであったが、現在は写真や住所録を基に多少の設定をすれば、あとはパソコンが勝手に作成してくれる。また一枚あたり数円の手数料を払えば見映えの良い素晴らしい年賀状が出来上がってくる。便利な世の中になったものだ。▼さて、いつから年賀状という風習があったのか、調べてみると平安時代まで遡るそうだ。平安時代の学者である藤原明衡が作った手紙の文例集『庭訓往来』の中に『春の始めの御悦び、貴方に向かってまずお祝い申し候』とあり、これが日本最古の年賀状の文例と一説では言われている。その後明治維新に郵便はがきの登場により年賀状が爆発的に増えたそうだ。▼現代ではデジタル通信の発達により、メールやＳＮＳで簡単且つオシャレに年始の挨拶を行う人も増えてきているが、それでも国民一人あたり約二十七枚の年賀ハガキが送られているという。▼どのような形であれ旧年中にお世話になった人への感謝の気持ちと新年も親しくさせていただきたい気持ちを込め年賀の挨拶をしたいと思う。（目黒知希）

コミュニティだより
「三春わが街」第九十四号
発行日　令和二年一月一日
発　行　三春まちづくり協会
編　集　三春まちづくり協会
広　報　部　会
三春町大字貝山字泉沢一〇〇一
（六二一）三九八八